《コース専門教育科目 コース専門基礎科目》

科目名	子どもの保健Ⅱ				
担当者氏名	葛本　ひとみ				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》
① 講義の形態:
・配布資料や教科書をもとに講義・実習・演習形式で行い、グループ形態の学習を取り入れる。
・パワーポイントで進め内容により各種実践的教材を用いる。
・レポートの作成
② 学習方法:
・実習・演習内容を十分身につけ、実技小テストに臨むこと。

《授業の到達目標》
子どもの健康と安全を守るため、必要な知識や技能を習得し実践力を養う。
・主な保健活動を理解し、保健活動年間計画の作成法や、PDCAサイクルによる保育実践の方法がわかる。
・豊かな生活ができる環境づくりや支援の方法を身につける。
・疾病や事故の予防や、適切な対処方法について身につける。
・心身の健康問題や発達障害など地域連携について理解する。

《成績評価の方法》
平常点、提出物、グループ(個人)発表・演習及びその態度 60%
実技小テスト 40%

《テキスト》
子どもの保健Ⅱ　　佐藤益子編著　(ななみ書房)

《参考図書》
保育所保育指針 解説書　厚生労働省編　(フレーベル館)
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説　内閣府　文部科学省　厚生労働省　(フレーベル館)

《授業時間外学習》
【予習】「子どもの保健Ⅱの授業計画表」により学習範囲を確認し、テキストを熟読すること。 実技に使用する配布プリント・準備物は、必ず用意して授業に出席すること。
【復習】テキストと配布プリントの見直しを行い、実技小テストに向けての各回の学習・演習の復習をすること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	保健活動の計画と評価	①保育の保健活動、保健計画の作成と活用
2	保健活動の計画と評価	②保健活動の記録と自己評価
3	保健活動の計画と評価	③子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康と安全・衛生管理
4	子どもの保健と環境	①保健における養護と教育の一体性、子どもの健康増進と保育の環境
5	子どもの保健と環境	②子どもの生活習慣と心身の健康
6	子どもの保健と環境	③子どもの発達援助と保健活動
7	子どもの保健と環境	④やってみよう(身体計測、沐浴、おむつ交換、衣服、その他)
8	子どもの疾病と適切な対応	①感染症の予防と対策
9	子どもの疾病と適切な対応	②個別的な配慮を必要とする子どもへの対応
10	子どもの疾病と適切な対応	③障がいのある子どもへの適切な対応、やってみよう
11	事故防止および健康管理・安全管理	①事故防止および健康管理・安全管理への組織的取組
12	事故防止および健康管理・安全管理	②保育における事故の応急処置
13	事故防止および健康管理・安全管理	③保育における看護
14	心とからだの健康問題と地域保健活動	①子どもの養育環境と心の健康問題、発達障害
15	心とからだの健康問題と地域保健活動	②心とからだの健康づくりと地域保健活動